RMRP24－03

ASNITE標準物質生産者
フレキシブルスコープ認定区分一覧

（第3版）

2026年11月2日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

適合性評価推進センター　認定センター

このファイルを複写したファイルや、このファイルから印刷した紙媒体は非管理文書です。

ASNITE標準物質生産者フレキシブルスコープ認定区分一覧

製品評価技術基盤機構認定制度(ASNITE)におけるフレキシブルスコープ標準物質生産者に係る「分野」、「認定対象標準物質」及び「値付け技術」を組み合わせた「認定区分」を表1に定める。

表1 認定区分

分野	認定対象標準物質	値付け技術
化学	金属標準液(単一成分) (NIST トレーサブル)	キレート滴定法
		ICP-OES
	無機混合標準液	質量比混合法
	有機混合標準液	質量比混合法
		LC/MS 法
	有機化合物(単一成分)	核磁気共鳴法 (^{1}H)
	有機標準液(単一成分、NMR 用溶媒溶液に限る)	
	含フッ素有機化合物(単一成分)	核磁気共鳴法 (^{19}F)
	含フッ素有機標準液(単一成分)	

※ 金属標準液(単一成分)のうち、同一成分のJCSS標準液が供給されている場合、JCSSにおいても標準物質生産者認定を受けていることを認定の条件とする。なお、先に ASNITEで認定取得後、後にJCSSの対象となったものについては、順次、「JCRP22 JCSS登録及び認定の取得と維持のための手引き」に定める変更届又は認定申請書 により追加しなければならない。

このファイルを複写したファイルや、このファイルから印刷した紙媒体は非管理文書です。

附則

この規程は、2025年 9月 19日から適用する。

附則

この規程は、2026年4月1日より適用する。

附則

この規程は、2026年11月2日より適用する。

このファイルを複写したファイルや、このファイルから印刷した紙媒体は非管理文書です。

改正内容

○ フレキシブルスコープ認定区分の追加

なお、本文中、主な改正箇所には下線を引いてあります。

以上

このファイルを複写したファイルや、このファイルから印刷した紙媒体は非管理文書です。